

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	竹林整備から竹粉の活用を促進する事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人南信州クラブ 090-3346-5155
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,595,000 円 (うち支援金: 1,202,000円)

#### 事業内容

竹林が点在するこの南信州地区において、地域の課題解決として竹の伐採を促進するために竹の搬出・処理を無料で実施することで竹林整備を推進する。また竹に付加価値をつけることにより竹の伐採が促進されること狙い、竹をパウダー化(竹粉製造)し有機完熟堆肥製造に用いることに加え、竹粉を農業で活用してもらうことでその効果を広め、将来的に有料にて竹を買い取る仕組みを構築し、竹林の伐採→伐採竹のパウダー化→新たな需要の循環が行われる状況を作る。



【 上久堅作業場所 】

#### 事業効果

- ①予想以上の伐採希望・相談(22件)が寄せられ、改めて必要性の高さを感じた。受託数は14件。そのうち今年度は9件受託し、2月末までの予定期間内には6件取組んだ。道路沿い・水田脇・個人宅脇で積雪時・日照問題・浸食についての地域課題を解決できた。
- ②竹林所有者・別途講習会参加者に対して竹粉を有機農法の土壌改良剤として利用できることを資料を交えて説明した。初めて聞いた、普段取り組んでいる家庭菜園で使ってみたいとのことで、個人で4件の受注を受けた。
- ③今回無料で搬出・処分することを知ったことにより、地区1件、隣組1件の計2回・個人(3カ所)で伐採、1件は以前に伐採した竹の搬出のみであるが取組みことが出来た。新たな伐採と竹林整備に予想以上の効果があったと判断している。
- ④竹粉製造とそれの有機完熟堆肥製造への使用  
機械の納入が大幅に遅れたため2月下旬からの5週間しか竹粉製造が出来なかったが、短期間で集中して粉碎に取組めた。しかし、11月に伐採・運搬したなかで日数が経ったことにより黄変し利用できない竹が出た。大量注文(2トン車3杯分)も含め農家2件、個人4件の注文があり、件数的には予定より多くの箇所に届けることが出来た。残りは有機特殊肥料製造会社に納入した。
- ⑤竹粉の農業への活用  
広報は出来なかったが、既に竹粉を農業に利用している農家があることが分かった。その要望に応えることが出来た。竹林所有者及び家庭菜園実施者にPRしたことにより新たな個人的利用を掘り起こすことが出来た。

#### 【目標・ねらい】

- ①地域の課題解決
- ②新たな竹の需要開拓
- ③安価な伐採・搬出方法の確立

#### ※自己評価【B】

【理由】  
 \*搬出竹林数が当初の予定どおり6件  
 \*竹粉の配布先を個人へも対応したが5→6件と1件増えた。  
 \*機械納品が遅れたことにより粉碎期間が短くなり、また、初期に伐採しストックしておいた竹1/3が使用不可となった。

#### 今後の取り組み

- ①粉碎機の能力から来年度はあと2~3軒の農家の注文に対応できる。従って新たに報道機関・当クラブのHPやSNS・JAを含めた農業研修会等で紹介していきたい。
- ②上記に加え一人でも多くの個人利用件数を増やし、竹粉の有用性を知ってもらう。そのために竹粉の有用性を広めるため新たな講習会の開催に加え、農産物販売所や道の駅等にて無料進呈し一人でも多くの方に試用してもらう。
- ③ ①②で利用者を広めながら当クラブで製造する竹粉を上げ幅は少ないが年ごと値上げするようにし、必要としている農家・個人自ら伐採するように仕向ける。粉碎は当クラブでも引き続き実施。